

今月の「香港な人」

香港日本人補習授業校運営委員会

リン 美雪さん

香港在住20年、2011年に香港日本人補習授業校(HKJSS)を発足させたリン美雪さん。数名の保護者で署名集めやアンケートの実施、実行委員会の設立など、フルな活躍の結果誕生した同校は今年4月開校5周年を迎えた。今回はリンさんに同校の歩みと教育への想いを伺った。

自身の経験から設立を決意

香港日本人補習授業校の設立を考え始めたのは、最初のお子様が1年生になつた時

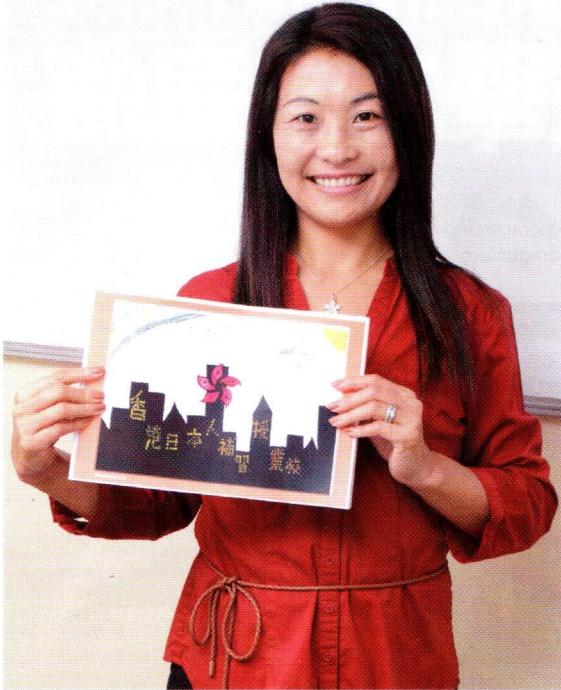
香港日本人補習授業校の設立を始めたのは、最初のお子様が1年生になつた時

香港日本人補習授業校の創立者の一人であるリンさん。開校5周年の節目に、彼女が語る開校までの道のりと教育に対する想いとは? 香港日本人補習授業校の創立者の一人であるリンさん。開校5周年の節目に、彼女が語る開校までの道のりと教育に対する想いとは? 香港日本人補習授業校の創立者の一人であるリンさん。開校5周年の節目に、彼女が語る開校までの道のりと教育に対する想いとは?

香港日本人補習授業校の創立者の一人であるリンさん。開校5周年の節目に、彼女が語る開校までの道のりと教育に対する想いとは? 香港日本人補習授業校の創立者の一人であるリンさん。開校5周年の節目に、彼女が語る開校までの道のりと教育に対する想いとは?

香港日本人補習授業校の創立者の一人であるリンさん。開校5周年の節目に、彼女が語る開校までの道のりと教育に対する想いとは? 香港日本人補習授業校の創立者の一人であるリンさん。開校5周年の節目に、彼女が語る開校までの道のりと教育に対する想いとは?

香港日本人補習授業校の創立者の一人であるリンさん。開校5周年の節目に、彼女が語る開校までの道のりと教育に対する想いとは?



PROFILE・Miyuki Lynn(ミユキ リン)

香港在住21年。1994年にキャセイパシフィック航空のフライトアテンダントとして来港。香港でご主人と結婚し、定住。最初の子どもの出産を機に、日本語教師へ転職。6年前に、保護者数名と香港日本人補習授業校の設立について話し合い、1年の準備を経て開校。現在、同校の事務と運営を担当。

●連絡先／香港日本人補習授業校運営委員会
Tel／5366-2394 Email／japanese@hkjss.hk HP／www.hkjss.hk

バランス感覚のとれた国際人を香港で育む

香港日本人補習授業校の創立者の一人であるリンさん。開校5周年の節目に、彼女が語る開校までの道のりと教育に対する想いとは?

香港にいる方々からの支援

「香港日本人補習授業校を運営して行く上で、香港にいる方々にはたくさんサポートをいただきました」とリンさんは油麻地にある専門学校(COC)がスペースを使わせてくれている。そして、運営委員長を務める香港和僑会の荻野会長、副委員長を務めるB&Wファーリーストの若井氏らの活躍があつて、2013年より日本政

府(外務省・文科省)から援助金を得ることに。パートナーシップを組むことができ、現在は油麻地にある専門学校(COC)がスペースを使わせてくれている。そして、運営委員長を務める香港和僑会の荻野会長、副委員長を務めるB&Wファーリーストの若井氏らの活躍があつて、2013年より日本政

府(外務省・文科省)から援助金を得ることに。パートナーシップを組むことができ、現在は油麻地にある専門学校(COC)がスペースを使わせてくれている。そして、運営委員長を務める香港和僑会の荻野会長、副委員長を務めるB&Wファーリーストの若井氏らの活躍があつて、2013年より日本政



開校式に初代運営員と教員で



休みの日は家族で世界各地を歩くのが趣味

日本文化の良さを知る国際人を育む

現在同校では、平日に現地校やインタークラスノナルスクールに通う日本人の小・中学生が、週1回日本語で学ぶ場所を提供。

「当校は、『バランス感覚のとれたグローバルな人材育成』が理念です。海外で成長する子どもが、日本語や日本文化の勉強を通して自分のルーツについて知ることはとても大切だと考えています。たとえ将来、

アイデンティティの壁にぶつかったとしても、自分なりの解決策を見つけることができるようになります」とリンさん。「開校当初『世界にひとつだけの花』を生徒と歌いました。芽を摘まないで、彼らには自分色の花を咲かせてほしいです」と熱く語つてくれた。そのため、授業でも日本語を使いたがらない生徒に対してもべく否定的な態度を取りないようにしているという。

「当校は、保護者がスタートしたものです。常に保護者目線から子どものニーズを考えることができます」と、補習校の基本を維持しつつ、児童のニーズに合わせてフレキシブルに展開していく方針を話してくれた。「より多くの生徒のニーズに応えるため、教員も随時募集しています!」というリンさんの教育に対する熱意から、同校の今後の歩みも期待できるものだと確信した。